

副業、投資、お小遣い稼ぎ・・・ SNSでの「儲け話」に注意しましょう。

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を使った詐欺被害が増えています。SNSをやっていると副業や投資、お小遣い稼ぎなど、様々な「儲け話」を見つけることができますが、その多くは実態のわからない怪しいものです。



典型的な手口

詐欺の多くは大人を狙ったものですが、中には子どもを狙ったものも存在します。

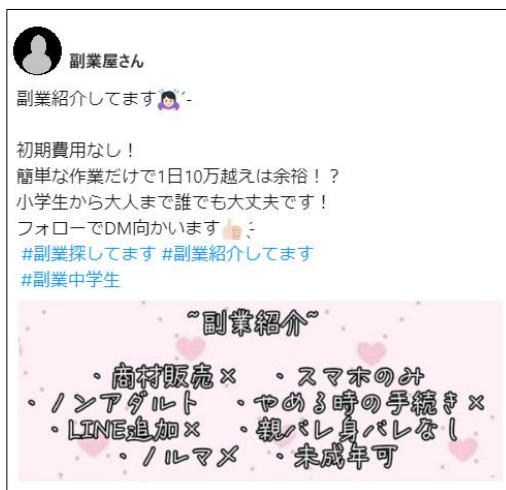
【怪しいアカウントの特徴】

- ・「〇〇もやっている」などと有名人の名前を出してくる
- ・実際に通帳や札束の写真を載せて本当にお金が入ることをアピールしている
- ・中学生、高校生を装って「実際に自分もこれで稼げた」という投稿をしている

怪しいアカウントに接触してしまうと、DM（ダイレクトメール）やLINEなどのチャットアプリに誘導され、情報料や初期投資費用としてお金を請求されたり、投資の名目でお金を振り込ませたりしてくるという流れです。また、登録に必要という名目で身分証などを提示させ、個人情報を狙ってくる場合もあります。

右図は怪しいアカウントの例になります。子どもを対象としたアカウントでは「親バレ・身バレ無し」などと保護者や周りに知られずにお金を稼げることや、「オタ活・推し活」など趣味で使えるお金を稼ぐことができることをアピールしてくるケースが見られます。

【怪しいアカウントの例】



家庭での対応

SNS上の儲け話は上記のようなケースの他に、大人を狙った株式や仮想通貨に関する投資詐欺や、恋愛感情を抱かせて金を詐取するロマンス詐欺など様々な手口が存在します。共通してみられるのは昔からよく言われているとおり「うまい話には裏がある」ということです。インターネットに慣れていない人ほど、自分だけが特別な情報を発見できたと勘違いし、簡単に騙されてしまいがちです。子どもには「SNS上の儲け話は全て詐欺なので関わらない」ということを繰り返し伝えてください。また、子どもがクレジットカードや銀行口座を持っていなくても、QRコード決済アプリなどを使ってお金のやり取りが行われることもありますのでご注意ください。